【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公表番号】特表2006-514134(P2006-514134A)
【公表日】平成18年4月27日(2006.4.27)
【年通号数】公開・登録公報2006-017
【出願番号】特願2004-568581(P2004-568581)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ　27/18　　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　 3/20　　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　 5/18　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　27/18
Ｃ０８Ｊ　 3/20　　ＣＥＷＤ
Ｃ０８Ｋ　 5/18

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月4日(2006.12.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ａ）チッソ含有硬化部位モノマーから誘導された共重合単位を含むフルオロポリマーと、
（ｂ）NH_2置換基と、水素以外の少なくとも１つの追加の置換基とを有する芳香族硬化化合物であって、該置換基の正味効果が電子求引性ではなく、該硬化剤が約１２より上のｐＫａを有し、１つもしくはそれ以上のヘテロ原子を含有してもよい化合物（ただし、水素に直接結合したいかなるヘテロ原子も該NH_2置換基のオルト位になく、そして１つもしくはそれ以上追加の置換基が一緒になって、芳香族であってもよい、かつ、１つもしくはそれ以上のヘテロ原子を含んでもよい環を形成してもよい）とを含む組成物。
【請求項２】
前記フルオロポリマーが（ｉ）テトラフルオロエチレンと；（ｉｉ）フッ素化コモノマーと；（ｉｉｉ）１つもしくはそれ以上のパーフルオロビニルエーテルと；（ｉｖ）それらの組み合わせとから誘導された共重合単位を含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記フルオロポリマーがパーフッ素化されている、請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
前記窒素含有硬化部位モノマーがニトリル硬化部位モノマーである、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
前記硬化化合物が、前記アミノ基のオルト位のＲ基であって、環状であってもよい、かつ、ヘテロ原子を含有してもよい、アルキル、アルケニル、アリール、またはそれらの組合せであるＲ基に直接結合したヘテロ原子を含有する、請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
前記ヘテロ原子が、（ｉ）２つのＲ基に結合している窒素である；（ｉｉ）酸素であり、Ｒ基がＣ１～Ｃ５アルキルである；（ｉｉｉ）チッソであり、Ｒ基がそれぞれ独立して

Ｃ１～Ｃ５アルキルである；および（ｉｖ）それらの組み合わせである、からえらばれる請求項５に記載の組成物。

【請求項７】

前記硬化剤が、（ｉ）メトキシ置換モノ－およびビス－アミノ置換芳香族化合物、アルコキシ置換モノ－およびビス－アミノ置換芳香族化合物、ジアルキルアミノ置換モノ－およびビス－アミノ置換芳香族化合物、チオアルコキシ置換モノ－およびビス－アミノ置換芳香族化合物、およびそれらの組合せ；（ｉｉ）アミノ置換のナフタレン、アントラセン、ピリジン、ピリミジン、メラミン、キノリン、フラン、ピロール、オキサゾール、イミダゾール、チオフェン、トリアジン、アズレン、ベンズイミダゾール、およびそれらの組合せ；ならびに（ｉｉｉ）ｏ－アニシジン、ｐ－アニシジン、ｍ－アニシジン、４''，４'''－（ヘキサフルオロイソプロピリデン）－ビス（４－フェノキシアニリン）、４－フェノキシアニリン、３，４，５－トリメトキシアニリン、２，２－ビス（４－アミノフェニル）ヘキサフルオロプロパン、４－アミノ－２，６－ジクロロフェノキシド塩、およびそれらの組合せ、から選択される、請求項１に記載の組成物。

【請求項８】

（ａ）ニトリル硬化部位モノマーから誘導された共重合単位を含むフルオロポリマーを提供する工程と、

（ｂ）水素以外の１つの置換基を有するアミノ置換芳香族硬化化合物であって、水素に直接結合しているヘテロ原子を含まない前記置換基が該アミノ基のオルト位にあり、該置換基の正味効果が電子求引性ではなく、該硬化剤が約１２より上のｐＫａを有し、該化合物が１つのヘテロ原子を含有してもよく、そして１つもしくはそれ以上の置換基が一緒になって、芳香族であってもよい、かつ、１つの環ヘテロ原子を含んでもよい環を形成してもよい化合物を提供する工程と、

（ｃ）該フルオロポリマーを該硬化剤とブレンドする工程と

を含むフルオロポリマー組成物の製造方法。

【請求項９】

前記混合物を造形して造形混合物を製造する工程および造形混合物を硬化させる工程をさらに含み、場合により、前記硬化混合物を後硬化して硬化混合物を製造する工程をさらに含み、場合により、前記硬化混合物を熱老化する工程を含む、請求項８に記載の方法